

宮内庁管理部管理課 御中

## 桂離宮における参観定員拡充ならびに参観料徴収実施に伴う弊害について

平成三十年十一月より実施された桂離宮における参観定員拡充ならびに参観料徴収につきましては、施設の破損・劣化を早めるとともに、商業化・観光地化による皇宮の尊厳毀損に繋がるものとして、強く懸念してまいりました。

今般、該措置実施後の状況を視察すべく同離宮の参観を行ったところ、苑内石畳の一部破損(案内官によれば「昨秋の観光シーズンで」との事)が見られた他、同時に三組ほどの参観班が苑内に滞在している時間帯がある等、参観受入れが過剰な状態となっている事が看取され、案内官の疲弊消耗ぶりも窺える等、参観者数拡充の弊害が顕著となっています。

また、参観有料化について案内官が「多くの参観希望に応えるため定員を拡大したが、参観増による苑路の苔等の傷みは避けられず、その修復費用のため有料化した」旨説明されていましたが、施設保全よりも参観希望充足を優先するかの如き論理や、参観拡大のような些事のために皇室と国民の關係に誤解を生ぜしめかねない皇宮の参観有料化を強行されたことを、極めて遺憾に存じた次第であります。

よって本件について、下記の通り質問及び要望致します。

### 記

#### 質問

1. 桂離宮の施設(庭園・建造物)に生じた参観に起因する破損・劣化について、平成三十年十一月の参観定員拡充以降の発生状況にどのような変化が生じたか、承りたい。

#### 要望

1. 桂離宮の参観定員を平成三十年十月以前のものに復するとともに、参観料の徴収を廃止願いたい。
2. 参観の定員拡充を、京都仙洞御所・修学院離宮等他の皇室施設に拡大しないよう願いたい。
3. 京都御所の通年公開を廃止願いたい。
4. 参観の有料化を、京都御所・京都仙洞御所・修学院離宮等他の皇室施設に拡大しないよう願いたい。
5. 文化庁等の関与を拒絶し、宮内庁のみによる皇宮管理を今後とも貫徹願いたい。
6. 桂離宮・修学院離宮・京都仙洞御所のそれぞれについて、新型コロナウイルス感染拡大防止のための参観休止期間中に、参観休止による庭園植生の回復状況を測定し、参観縮小が施設保全に齎す影響についての資料を作成願いたい。
7. 京都御所・桂離宮・修学院離宮・京都仙洞御所は、商業施設・観光施設ではなく「皇宮」であることを今一度肝に銘じ、皇宮としての尊厳護持を最優先に職務に精励願いたい。

以上